

AIGA 予後調査 (2016.12)

施設	
回答者	

・患者背景

年齢	歳
性別	男 ・ 女
職歴	
熱中症の既往	・ 熱中症の症状スコア ()
発症時年齢	歳
発症から治療までの期間	
既往症	

・症状・検査

血清 IgE	() IU/mL
CEA 値	() ng/mL
組織学的検査	・ 異常なし ・ 汗腺周囲へのリンパ球浸潤 ・ 汗腺の萎縮 ・ 汗腺の変性 ・ その他

・無汗症に対する治療内容

ステロイドパルス療法	・ 合計実施回数 ()クール ・ 1回あたり投与量 ()mg
効果判定	・ 不変 ・ 有効 ()
初回治療前の重症度	・ 無汗部面積スコア () ・ 皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア ()
最終投与後の重症度	・ 無汗部面積スコア () ・ 皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア ()

その他の治療	・ 治療内容 () ・ 量、期間など ()
効果判定	・ 不変 ・ 有効 ()
治療前 AIGA 重症度 (分かる範囲で)	・ 無汗部面積スコア () ・ 皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア ()
治療後 AIGA 重症度 (分かる範囲で)	・ 無汗部面積スコア () ・ 皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア ()

その他の治療	・治療内容() ・量、期間など()
効果判定	・不変 ・有効()
治療前 AIGA 重症度 (分かる範囲で)	・無汗部面積スコア() ・皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア()
治療後 AIGA 重症度 (分かる範囲で)	・無汗部面積スコア() ・皮膚の痛み / 膨疹の面積スコア()

・再燃

再燃の有無	・無し ・あり
再燃後の治療内容	
再燃後の治療に対する反応	

・その他、特記事項など

()

参考：AIGA 重症度判定基準

	無汗・低汗病変部の面積*	皮膚の痛み、膨疹の面積* (コリン性蕁麻疹を伴うこともある)	熱中症の症状
スコア0	25%未満	25%未満	暑熱環境や運動で熱中症の症状はみられない
スコア1	25%以上－50%未満	25%以上－50%未満	暑熱環境や運動でたちくらみ、あるいは筋肉の痛みや硬直がみられる
スコア2	50%以上－75%未満	50%以上－75%未満	暑熱環境や運動でいわゆる熱疲労(頭痛、気分不快、吐き気、嘔吐、倦怠感・虚脱感)がみられる
スコア3	75%以上	75%以上 アナフィラキシー	暑熱環境や運動で意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温がみられる

検討事項

- ・ 検査項目に QSART を入れるか。無治療の場合は。
- ・ 過去 3 年間にける後向き症例集積研究とする。
- ・ 開始前に各大学の倫理委員会に申請する必要がある。